
11月11日（水） 19:00～21:30

【テーマ】 教育

【タイトル】

遊びが学びに欠かせないわけ～自立した学びを育てる～

【概要／狙い】

スウェーデンの自然学校やプリスクールで学校の教師の多くが授業で実践しているアクティビティがギュッと詰まった算数の野外教育というものがあります。

野外で身体を動かし、五感をフルに使い、身体全体で算数を学びます。野外に出ることで、子どもたちの学びにたくさんの効果が得られます。

「遊び」や「楽しさ」は、学びにとって大切な要素です。教室の中の知識としての学習と、野外での体験をうまく組み合わせながら、子どもたちは学びを深めていきます。

本講義では、海外の環境教育を視察し、日本の環境教育との交流を行ってきたNPO法人当別エコロジカルコミュニティ代表理事山本幹彦さんから「野外で算数」の必要性と意義を学び、これからのわたしたちの目指す教育の在り方、自立した学びを育てることについて、議論します。

【場所】

オンライン（Zoom）

【講師】

山本 幹彦 / NPO法人当別エコロジカルコミュニティ

【課題図書】

『遊びながら野外で学ぼう 野外で算数』

共訳：山本幹彦、山本風音（合同会社ラーニング・アウトドア）

【参考サイト】

[合同会社ラーニング・アウトドアのホームページ](#)

【参考写真】

